

近畿大学医学部 2015年度(後期)入学試験 解答速報 英語

2015年3月8日 実施

<解答>

I 会話

1	2	3	4	5	6
ウ	ア	ウ	ア	イ	エ

II 空所補充

7	8	9	10	11	12
ク	オ	ア	エ	イ	カ

III 文法4択

13	14	15	16	17	18	19	20
ウ	ウ	エ	ア	イ	イ	ア	ア

IV 同意文選択

21	22	23	24
イ	ア	イ	ア

V 単語

25	26	27	28	29
イ	イ	ウ	ウ	エ

VI 語句整序

30	31	32	33	34	35	36	37
ウ	エ	ア	エ	エ	カ	イ	カ

VII 長文内容一致

38	39	40	41	42	43	44	45
エ	ウ	エ	イ	ア	ウ	ア・エ (順不同)	

<解説>

I 会話

[A]

1. ウ **I'd rather listen to the radio.** 「むしろ私はラジオを聞きたい。」
直後の B が “Why? Aren't you interested in Japanese culture?” 「どうして。あなたは日本文化に興味がないの。」と言っているので A は日本文化に関するドキュメント番組を観たくないと考えられる。
2. ア (~ it's the only show that) **might be worth watching.** 「それは観る価値がある唯一の番組だよ。」
B は日本文化に関するドキュメント番組を観たがっている。
3. ウ (~ when I start watching it, I'll) **get really excited.** 「それを見始めたら、本当に面白くなるんだ。」
A は野球の試合を観たがっている。

[B]

4. ア **But I'd like to avoid seafood.** 「だけど魚介類は避けたいんだ。」
直後の B が「本当？それが問題なら別のピザを食べよう」と言っており、A は B の提案に反対していることがわかる。
5. イ **Besides, I'm really starving right now.** 「それに今とてもおなかが空いているんだ。」
直後の B が「もしそんなにおなかが空いているのなら」と言っている。
6. エ **What are our other options?** 「他にどんな選択肢があるの。」
直後の A の発言にある“one”は“a large pizza”であり、他の種類のピザを別の選択肢として提案している。

II 空所補充

7. ク Today, scientists are beginning to (**separate**) the facts from the fallacies surrounding the aging process.
「今日、科学者たちは加齢のプロセスにまつわる事実と誤った考えを区別し始めている。」
8. オ Why is it that some people (**reach**) a ripe old age and others do not?
「老齢まで達する人とそうでない人がいるのは一体なぜだろうか。」
9. ア Some researchers divide the elements (**determining**) who will live longer into two categories.
「長生きする人を決定する要素を2つに分類する研究者たちがいる。」
10. エ Gender, (**race**) and heredity are fixed factors.
「性別、人種、遺伝的特質は変えることができない要素である。」
11. イ ~ at birth, their life (**expectancy**) is about seven to eight years more.
「誕生時の女性の平均余命は(男性に比べて)約7~8年長い。」
12. カ However, cigarette smoking, drinking and (**reckless**) driving could shorten this advantage.
「しかしながら、喫煙、飲酒、無謀な運転のせいでこの長い寿命は短くなることがある。」

Ⅲ 文法4択

13. ウ (making)
I remember Mike **making** lots of mistakes ~. 「マイクがたくさん間違いをしたことを覚えている」
14. ウ (others)
Some ~, but **others** ... 「～な人もいれば、…な人もいる」
15. エ (none)
~, but there was **none**. 「全く残っていなかった」
16. ア (came)
~ since he **came** back from Africa. 「彼がアフリカから戻ってきて以来」
17. イ (late)
My **late** mother ~. 「亡くなった私の母」
18. イ (as)
Strange **as** it may sound, ~. 「奇妙に聞こえるかもしれないが」
19. ア (by)
~ in order to finish the task **by** the end of this month. 「今月末までに仕事を終わらせる」
20. ア (be changed)
We suggest your water filter **be changed** ~. 「水のフィルターが交換されることを勧める」

Ⅳ 同意文選択

21. イ In order to promote sales around the world, the manager **submitted** a new plan.
「世界中で販売を促進するために、その店長は新しい案を提出した。」
turn in : (書類・案などを) 提出する
22. ア Tim **became responsible for** the project, so our troubles ended.
「ティムがその計画の責任を負ったので、我々の心配は終わった。」
take charge of ~ : ~の責任を負う
23. イ New **suggestions were made** by the committee for the fall festival.
「秋祭りのための新しい提案がその委員会によってなされた。」
come up with ~ : ~を思いつく、提案する
24. ア All the students in the class **began** to read the more challenging book.
「クラスの生徒全員がさらに難しい本を読み始めた。」
move on : (次の段階に) 移る

Ⅴ 単語

25. イ **candidate** : 候補、候補者、～になりそうな人 (もの)
(a) 「ある地位につくのにふさわしいと見なされる人」
(b) 「スティーヴは教職に最も適した人物と見なされている。」
26. イ **concern** : 懸念、心配、関心
(a) 「何かについて心配する感情」
(b) 「ジムはテストの出来について心配している。」
27. ウ **manufacture** : ~を製造する、生産する
(a) 「工場では何かを作るまたは生み出すこと」
(b) 「我々は新しいコンピューターを製造する新施設を開いた。」
28. ウ **proposal** : 提案、提議、計画
(a) 「人々に考えるよう提案された計画や考え」
(b) 「その計画は月曜までに終えなければならない。」

29. エ prevent : ~を妨げる、止める

- (a) 「何かが起こることを阻止すること」
(b) 「農場を取り囲む柵は野生動物が侵入することを阻む。」

VI 語句整序

[A] (30,31) (ウ)(カ)(イ)(ア)(エ)(オ)

We had a meeting yesterday, (**during which almost all the people present**) were discussing the issue earnestly.

[B] (32,33) (ア)(オ)(ウ)(イ)(エ)(カ)

(**Given the progress made in recent years**), another three years could be enough for a significant change in the industry.

[C] (34,35) (ウ)(エ)(イ)(カ)(オ)(ア)

There was (**no particular hurry to get the work done**).

[D] (36,37) (オ)(ウ)(イ)(カ)(エ)(ア)

The professor (**told the students that unless they attend**) the first class, they will not know which textbooks to purchase.

VII 長文内容一致

問 1 (38) エ [2004 年から 2008 年にかけて留学する日本人の数は減少した。]

◎第 1 段落の内容に合うものを選ぶ問題。「留学する日本人の数が減少した」というのが第 1 段落の主題。

- ア. ~ **the cost** of studying abroad **has increased since 2008**. 2008 年までに留学費用が下がっている。(17)
イ. ~ **more students** have started going abroad to study. 円高にも関わらず、留学する学生は減っている。(17)
ウ. ~ so the number of students studying abroad **increased**. 就職のことを考えて留学を回避している。(17)

問 2 (39) ウ [留学期間は重要ではない。外国語を実際に使ってみることは多くの恩恵があるからだ。]

◎第 2 段落の内容に合うものを選ぶ問題。

- ア. ~ **a shorter stay** in ~ will give you **few benefits**. 期間を問わず恩恵はある。(12)
イ. **Even if** you are **unprepared** to study abroad ~. 留学成功の条件はしっかり準備すること。(14)
エ. What you do after ~ **has no relationship** to ~. 留学成功のもう一つの条件は留学先で何をするかということ。(16)

問 3 (40) エ [日本では英語の授業が終わると、学生は英語でコミュニケーションをとるのをやめてしまう。]

◎下線部(40)[In Japan, once you leave the English classroom, life reverts back to Japanese.]の内容に合うものを選ぶ問題。

- ア. After ~ an English-speaking **country**, their lives **stay the same**. 「国」ではなく教室を出る。「同じ」でもない。
イ. As soon as ~ **a foreign country** and ~, ~ speak **English** in ~. 同上。「英語」ではなく「日本語」に戻る。
ウ. No sooner ~ than they begin to speak **English**. 教室を出て話すのは「英語」ではなく「日本語」。

問 4 (41) イ [外国で生活すると、自分の母語で他者と意思疎通する多くの機会が得られる。]

◎第 3 段落の内容に合わないものを選ぶ問題。「母語」ではなく「現地の言語」で意思疎通する。

問 5 (42) ア [社会活動に参加することで友人を見つけることには、生涯続くような関係をもたらすという恩恵がある。]

◎第 4 段落の内容に基づき、下線部(42)[The benefits]の例として最も適当なものを選ぶ問題。

イ. Having friendly relationships with ~ is an **academic** benefit of ~. 友人関係をもつことは、“academic”ではなく、“social”の例。(16)

ウ. Making friends with ~ is a **linguistic** benefit of ~. 友達になることは、“linguistic”ではなく“social”の例。(16)

エ. Understanding the cultural background ~ is a **social** benefit of ~. 文化的背景を理解することは、“social”ではなく“academic”の例。(15)

問 6 (43) ウ [留学することには、学識の習得といった様々な恩恵がある。]

◎第 4 段落の内容に合うものを選ぶ問題。

ア. One **academic** advantage is that **your ability to speak ~ remains constant**. 「話す能力」は“academic”ではなく、“linguistic”の例であり、「一定である」のもおかしい。(13)

イ. The relationship ~ may last **only when** you are in ~. 関係は生涯続くかもしれない。(18)

エ. While your cultural understanding of ~ **is unaffected**, ~. 文化的理解も深まる。(15)

問 7 (44,45) ア [2008 年に留学する日本人学生の数は増え始め、ピークを迎えた。]

エ [留学する学生はしばしば留学しない学生よりも外国語に触れる機会が少ない。]

◎本文の内容と合わないものを 2 つ選ぶ問題。

ア. In **2008**, the number of ~ **began to rise and peaked**. 2004 年にピークを迎えた。それ以降減少。(第 1 段落, 15)

エ. Students ~ often receive **less linguistic input** than ~. 留学した人には他言語に触れる機会が多くある。(第 3 段落)

講評

形式、内容ともに例年通り。大問 II は本文を最後まで読んでからでないで前半の空所はやや決めにいくいが、全体としては平易。9 割が目標。

医歯学部進学予備校 **メビオ**

〒540-0033 大阪市中央区石町2-3-12 ペルヴォア天満橋

TEL 06-6946-0109 FAX 06-6941-9416

<http://www.mebio.co.jp/>

